

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポートセンタースクラブ 児童発達支援 彩路		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 10日		～ 令和7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 22日		～ 令和8年 1月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定化されないよう工夫しています。	・運動面や日常生活動作への支援以外にも、ホースセラピーやクリスマス会等の季節ごとの行事を取り入れています。ホースセラピーについては、個別レッスンだけでなく、ふれあい活動として小集団でエサやりやブラッシング体験なども行っています。	・園外療育等のこどもたちが積極的に参加できるようなイベントの企画を行っています。また、設定したプログラム以外にもこどもたちで選択して参加できるようなプログラムも検討します。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・親子療育や親子ふれあい会については、参加希望者の広がりが見られない。	・「親子で参加してみたい」という魅力的な内容に至っていない。また、茶話会形式での保護者同士の交流は苦手な保護者いる。さらに母親の参加が多く、父親だけでは参加しづらい家庭もある。	・親子療育の内容の充実を図り、こどもとの関わり方を学ぶだけでなく、親子で楽しく参加できるような内容を充実させていく。また、親子ふれあい会では茶話会だけでなく父親も参加しやすいような親子での園外療育などを検討し、体験活動の中で保護者同士が交流を図れるような内容を企画していく。
2			
3			